
心理カウンセリングの実際 ～初回面接から報告書の作成まで～

(講師 : 清水 信介 先生)

【研修のねらい】

この研修では、講師が担当した臨床事例を提示し、初回面接から終結までの過程を参加者の方々と質疑を交わしながら順次検討を進めていきます。さらに、当該事例についての症例報告の考察部分を配布し、それについての討議も行います。

提示事例は、神経症圏内の問題で、クライアントの健康度は比較的高く治療期間も短いので理解し易いものと思います。カウンセリングの学習経験の浅い方でもご参加いただけます。

カウンセリングとはどういうものなのか、クライアントはどのように変化していくのかについて認識を深めていただく機会になるかと思えます。

【研修の内容】

1. 導入の小講義
2. カウンセリング事例の提示と検討
 - 1) 事例：意欲減退を訴えて来談した女子学生のカウンセリング
クライアント：19歳の女子学生（大学2年）
カウンセリングの期間：約3カ月、9回の面接を行ない終結
 - 2) 面接の展開過程の検討
 - 3) 考察論文についての討議
3. まとめと小講義

◆研修日時：2023年11月23日（木・祝） 13:00～16:00 （3時間）

※申込締切日：11月9日（木）

◆研修会場：かでの2・7（1040会議室）

◆受講料：会員3,300円（税込） 非会員4,950円（税込）

◆定員：30名（先着順、定員になり次第締め切ります） <最少催行人数10名>

◆資格登録更新研修該当

【清水 信介（しみずのぶすけ）先生 元・北星学園大学社会福祉学部教授 臨床心理士】プロフィール

北海道大学文学部哲学科(心理学)を卒業。日本国有鉄道労働科学研究所の研究員として約10年間勤務し、心理検査の開発、カウンセリングとエンカウンター・グループの研究・実践に従事。その後北海道に戻り、大学教授として室蘭工業大学、札幌学院大学、北星学園大学などに勤務。この間、臨床心理学を学ぶ学部学生、大学院生の教育指導に当たるとともに、心理臨床家として心の悩みを抱える人々に対する相談援助を行う。

また、大学外での活動として、1996年から現在まで、日本産業カウンセラー協会（北海道支部）の産業カウンセラー養成において講師およびスーパーヴァイザーとして指導に当たっている。専攻は臨床心理学（心理療法）で、ユング心理学に基礎を置く立場で心理療法（カウンセリング）を行っている。